

社会福祉法人 大阪市手をつなぐ育成会

大阪市天王寺区東高津町12-10

大阪市立社会福祉センターB1F

発行責任者 小泉 いと子

TEL 06(6765)5621 FAX 06(6765)5623

http://city-osaka-ikuseikai.or.jp

定価 10円



大阪市手をつなぐ育成会 法人理念

障がいのある人が 安心して 心豊かに すごせるように

新年度を迎えて ～法人内各施設より～

平成30年度になりました。法人内の各事業所でも管理者をはじめ人事異動がありました。(詳細は7面・8面に掲載しています。)

4月号では各事業所の管理者から平成30年度を迎えての思いや目標を書いていただきました。

Keep On Going ～前へ前へ～

法人事務局
事務局長 飯塚 聡

昨今、社会福祉を取り巻く動向の中で、国では「我が事・丸ごと」という地域共生社会の実現に向けての方針を掲げています。簡潔に説明すると、高齢・障がい・児童などといった福祉分野の縦割りを解消し、各地域の福祉課題の状況も異なることから、福祉課題は住民が主体となって「制度に基づくサービス」や「制度に基づかないサービス」を活用して課題解決にあたるといったものです。



大阪市育成会では会員組織と事業実施主体としての2面性を持ち合わせており、両者の特徴を活かしながら他の地域団体とも協力し、市域全域は元より、区単位や小学校区・中学校区をベースとした小地域でも地域共生社会の実現のためのチームの構成員となる必要があります。そのためには、会員組織の育成会と事業実施主体の育成会ともに、様々な場面で活動内容や実績をアピールしていくことが重要です。

全国的に当事者団体の活動が縮小化してきている昨今ですが、会員組織の育成会としては、昨年度から

始めた障がい者理解の啓発活動を行い、地域で孤立している障がいのある方やご家族の方に育成会という組織を知ってもらえるよう、地道ではありますが活動を積み重ねていかななくてはなりません。また、事業実施主体の育成会としては、専門職集団である特性を發揮し、地域にお住まいの方に「分からないから育成園に聞いてみよう。」と思われるよう、地域の福祉資源として認知してもらうことも大切になります。

新年度を迎え、会員組織の育成会でも事業実施主体の育成会でも、従来の実施形態にとらわれず、新たな発想を取り入れ、時代に即した方法を模索しながら、前へ、前へ、と進み続けることが出来るよう、事務局として役割を果たしていきたいと思います。

ひとりの力をチームの力に！

東成育成園
管理者 林 祥子

今年度も東成育成園の施設長を務めさせていただくことになりました林 祥子です。この春は、予想以上に早い桜の開花に心が浮き立つ一方、なんとなく気忙しく新年度を迎えております。平成30年度も本体施設は生活介護・就労継続支援B型という多機能型での運営を。また、相談支援部門は東成区障がい者基幹相談支援センターとして改めて3ヵ年の受託が決まり、業務の範囲を広げて新たなスタートをきっております。



ここ最近、研修などに出向くと《人材確保と育成》を課題視する声がよく聞かれます。介護職員に対する処遇改善や働き方改革などとは言われているものの・・・なかなか難しい問題です。これは福祉の世界に限った話ではなさそうですが、やはりマンパワーが